

保育おおさか

No. **431**

平成 23 年 7 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

<http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/>



篠崎 直人氏

初めに、関川芳孝氏(大阪府立大学人間社会学部教授)が「地域の福祉

「地域貢献事業」の実践
大阪における

全国私立保育園研究大会

地域の福祉課題への挑戦が重要 実践報告「認可保育所の地域戦略」

6月15日～17日、第54回全国私立保育園研究大会(主催・社団法人全国私立保育園連盟、社団法人兵庫県保育協会)が神戸ポートピアホテルなどを会場に開催。大会2日目には25の分科会が設けられました。その中から第20分科会「社会福祉法人経営における認可保育所の地域戦略」で報告された内容をご紹介します。

課題、見返りが期待できない課題について挑戦していくことが重要。地域住民の安心をつくることにより、身近で頼れる存在、選ばれる保育園になるのではないかと問題提起。

続いて、武庫愛の園幼稚園(尼崎市)から「幼稚園に求められるものと果たすべき役割」をテーマに実践報告。幼稚園の役割として「在園児のより良い保育」「卒園児のフォロー」「地域の未就園児に対する育児支援」などが挙げられました。

また、頌栄保育園(神戸市)からは、「地域の幼稚園との競合」「保護者との関係」「地域の潜在的なニーズへの対応」について、自園の強みと弱みを分析して地域戦略に活かしているという実践報告がありました。

さらに、多夢の森保育園(神戸市)からは「地域になくてはならない存在」となるため、地域の課題分析の中からニーズの拾い出し、社福法人として求められるもの、やらなければならないことを法人全体で取り組んでいる事例が報告されました。

東日本大震災 被災地支援募金 ご協力ありがとうございました

3月23日付でご協力の依頼をいたしました東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)被災地支援募金へのご協力、ありがとうございました。6月3日までにいただきました義援金のうち2,000万円を第1次分として「保育三団体被災地支援募金」口座へ送金させていただきました。

なお、6月4日以降ご協力いただいた募金は、第2次分として送金させていただく予定です。

送金口座

金融機関：りそな銀行 支店名：大手支店
口座：普通預金 3010040
口座名義：社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
保育部会長 永野 治男(ナガノハルオ)

最後に、地域貢献事業推進委員会の篠崎直人委員(保育園平和の園)が、大阪における「地域貢献事業」の取り組みを紹介。育児相談事業から地域貢献事業に至るまでの歴史や現在の取り組み、地域のニーズに沿った事業展開の模索などを報告されました。

実践報告を受けて関川教授は、「地域ニーズを把握し、仕組みづくりを保育園から提案している事例として大変評価できる」と述べられました。また、「社会福祉法人として、問題解決のために、地域の関係者と一緒に行動する存在、地域福祉を担うメンバー」となる(認識される)ことが重要」と強調されました。



「みーみー」
子猫たちが呼んでいます。するとお母さん猫が「いまいきますよ、まっけてきね」と駆けてきて

て「可愛い子猫の絵本『まっけてね』。そつと添えられた作者のことばが目についた。赤ちゃんは日に何度くらい「まっけてね」と言われるのでしょうか。
おっぱいの時、おでかけの時……。待つ身のつらさは大人も子どもと同じ。でも、何もかも先回りして与えられて、待つことを知らないよりも、「まっけてね」はあつた方がいい。ただし、待つたかいがあつてこそ！どんな小さな約束も、一つひとつ果たされて、待つ楽しみも、待たせる人への信頼感も生まれるのでしょうか……。

仕事、家事、子育てに翻弄される日々。つい大人の都合に子どもたちを巻き込んでしまっている現実。忙しすぎる世情に投げかけられたメッセージのように感じました。

子どもたちの素直で真っ直ぐな気持ち、期待を一身に受けながら過ごす私たち。いつも心のどこかにとどめておきたいと感じました。(編集委員T・F)

必要な情報を共有・活用する 情報マネジメントの取り組み

調査研究委員会がめざすもの

今年度から、本委員会の取り組みについて、不定期ですが紹介させていただき

ます。理技術の進歩によって、既成の概念が次々と変化し、多くの情報が飛び交い氾濫する時代です。

調査研究委員会は、大阪府社会福祉協議会保育部会

のとともに設置され、大阪府および市町村における保育

施策の調査研究、法人・施設の運営や保育士の技術向上を図る研修会の企画・実施などを行っています。

これまで、第三者評価システムの導入や労働関連法令の改正、市町村行政の変化といった保育所運営に必要な情報をいち早く取り上げ、調査・研究を進めるとともに周知活動にも取り組んできました。

調査研究委員会が果たすべき役割・使命は年々広がり続けています。世界のグローバル化の流れや情報処

理技術の進歩によって、既成の概念が次々と変化し、多くの情報が飛び交い氾濫する時代です。

保育分野も例外ではなく、社会構造の変化から、保育所の制度改革が求められています。また、労務管理の在り方や社会福祉法人の会計の見直し、地方分権化など、保育園や保育園の運営のあり方を変化させる要素は明らかに増加しており、氾濫する情報を集約・整理するという「情報マネジメント」の考え方は大変重要になってきています。

これまでの調査・研究をもとに、入手した情報を誰もが共有できる資料として作成し、積み重ね、続けていくことが大切です。委員会の活動内容を本誌に掲載することで、情報の共有が

進み、情報の集約・整理だけにとどまらず、情報を共有することで新たなアイデアの発見も可能になってくるのではないのでしょうか。

次回からは、具体的な活動の中での報告や意見を掲載いたします。

(調査研究委員会H・S)

「全保協ニュース」 メール配信します！



現在、国では「子ども・子育て新システム」について議論されており、その動向を注視する必要があります。全国保育協議会が発行する「全保協ニュース」(A4判・2～3ページ)には、新システムを始め、保育を取り巻く動向の情報が掲載されています。

平成23年度の保育部会事業計画でも、迅速な情報提供を目的に「電子メールの活用」を掲げています。近年、電子メールを活用されている園が増えてきていることを受け、今年度から「全保協ニュース」をメールで配信します。

メールでの情報配信を希望する園は、①保育園名、②市町村名、③「全保協ニュース配信希望」と明記の上、下記アドレス宛にメールをお送りください。

hoiku@osakafusyakyo.or.jp

3月に各園に依頼しました地域貢献事業取り組み実績調査は424カ園から回答をいただきました(6月末現在)。ありがとうございました。

全園からの回答はいただいておりますが、以下は、調査の中間報告です。

Q 平成22年度、何件の相談を受けましたか？

回答いただいた園合計で、4万4236件の相談がありました。年間の相談件数が1件く25件と回答した園が179園と一番多く、300件を超える園も26園ありました。平均すると各園、約104件の相談を受けていることになります。

Q 保育・子育て以外の相談の具体的な内容は？

「保育・子育て」に関する案件が88%。「保育・子育て以外」の相談が12%で、その内容は「就労失

さまざまな関係機関と連携

22年度の相談は44,236件

● 地域貢献事業推進委員会 ●

業」が131件と一番多く、次いで「虐待」が108件、次いで「母子・寡婦」「DV」「知的障がい」「精神障がい」の順です。11項目すべてで20件以上の相談を受けており、さまざまな相談に応じていることがうかがえます。

Q 問題解決にあたり、どのような関係機関と連携を取りましたか？

「行政(保育・児童担当)」が249件と一番多く、「子ども家庭センター」157件、「保健所・保健センター」150件となっています。また、「民生委員・児童委員」や「老人福祉施設CSW(コミュニケーション)」という回答もあり、問題解決に向け、地域の中でさまざまな関係機関やキーパーソンと連携していることがうかがえます。

仏教保育の精神引き継ぎ 感謝と思いやりの心育む

いつでも覗ける給食室
肌で感じる食事つくる現場

摂津市

とりかい保育園

とりかい保育園は昭和25年、浄土真宗本願寺派の末寺・勝安寺の片隅で当時の住職・園田謙信氏によって開設。以来60年間、仏教保育の精神を守ってこられました。

社会にある多くの物事は変化していますが、子どもの心に感謝や思いやりを育む大切さは、普遍的なものです。しかし、日常の生活では気にも留めないことが多いのも現実です。

とりかい保育園で毎日唱和している「おやくそく」の中で、感謝の気持ちの芽生えを促す保育を受け継いでおられます。子どもたちが、

日常生活の中で自らの行動を振り返り、自分で考える場を多く持つことはとても重要で、人間性の礎を築く乳幼児期のさまざまな場面でこれらを学べることは素晴らしいと感じました。

平成22年に改築された新しい園舎は、子どもたちがいつでも給食室を覗けるような設計にされています。生き物の命をいただくことで学ぶ生命観や、食事をつくる人への感謝の気持ちを調理の現場に触れ肌で感じられることがねらいだそうです。

新園舎の建て替えを機に、今までの保育を見つめ直し、既存の保育活動の一つひとつに、改めて感謝の気持ちや思いやりの気持ちを育てるという理念が含まれていることを実感されています。

それぞれの園で保育の内に

おやくそく

- ・わたくしたちは、みほとけさまをおがみます。
- ・わたくしたちは、いつもありがとうといえます。
- ・わたくしたちは、おはなしをよくききます。
- ・わたくしたちは、みんななかよくいたします。



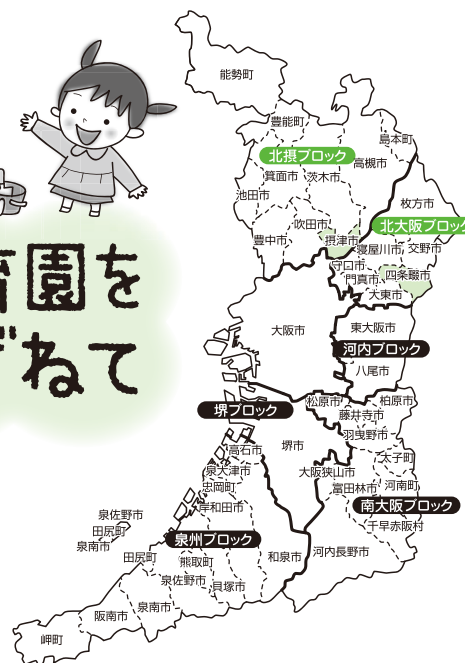
手と手を合わせて

容に違いはあっても、日常普段の何気ないところに保育の本質がたくさん含まれている。隠れた本質の存在に気づくことの大切さを、とりかい保育園の訪問を通して、感じ取ることができました。（編集委員M・H）



保育園を
たずねて

429



忍 ケ丘愛育園は、四條畷市北部、JR学研都市線忍ヶ丘駅から生駒山系に向かって徒歩数分の便利な所に立地する開園5年目の保育園です。

元々別の保育園に勤務されていた園長先生ですが、「かつての園ではできなかった何か」と「園児を含め利用者の充足感」を求めて園運営に取り組んでおられます。

その一つが体力づくり。朝食抜きで登園する、夜遅くまで起きているなど、他の園でよく見かける子ども

たちの生活習慣によって、保育時間内でも十分体を動かして切っていないのではなか、という疑問が出発点でした。

体育専門の講師を採用し、園内にあるホールや温水プールを活用し、一年中のびのびと体を動かせる環境を整えています。

飯盛山（生駒山系の北部）への山登りと頂上での昼食会は、重要な行事になっています。登山中の園児たちのスピード・体力は年毎に、目に見えて向上していると感じられています。



飯盛山へ山登り



お弁当を持ってみんなでお花見

ホール、温水プールを活用
山登り、体力づくりを重視

乳児クラスの担当制で
保育の質の同一化・共通化

四條畷市

忍ヶ丘愛育園

開設当初から乳児クラスで担当制を採用し、取り組んでおられます。担当制は、人材育成や保育内容の標準化と連動しており、保育士の意思の統一とサービスの質が同一化・共通化していることが必要になります。

園長先生は敢えて触れられませんが、開設当初の職員採用の時点から大変な苦勞をされたのではないかと察せられます。保育サービスの標準化については、参考文献があったとしても、園の実情に合わせた作業は容易ではなかったと思います。

（編集委員J・H）

「服育」「食育」「住育」を柱に 生きる力を身につける

幼稚園併設の利点活かし
お宮の前から翼広げ羽ばたく

松原市

宮前つばさ保育園



シースルー厨房のランチルーム



園庭が芝生の園舎

「住育」では、日々過ごす居住空間をより快適に、より安全に、そして有意義なものとなるよう工夫されています。子どもたちは園庭や屋上の天然芝・ビオトープで自然を感じ、廊下のところどころに

ここに掲げられている画家「青江鞠」先生の絵画を見て本物の芸術に触れます。幼稚園と保育園を併設している利点をうまく活用し、互いの翼を大きく広げて羽ばたいていくようです。
(編集委員 N・M)

高石市は高石駅から徒歩7分、商業施設・図書館も近く便利な場所にあります。周辺は古くからの住宅地で、とても静かな環境。民営化により平成21年4月1日開設、定員は140人です。

理念に掲げ、保育目標として、
①元氣（元氣な子ども）
②協調（友だちとみんなでなかよく、楽しくあそべる子ども）
③表現（自分で考え工夫しながら表現し、最後までやり通す子ども）
④自立（自分で見通しをもって生活できる子ども）
をねらいに、職員、保護者、行政と協力、日々の保育を実践しておられます。

「今後子どもたちの育ちに良い経験となる保育を心掛けていきたいと思っています」と園長先生は熱く語られていました。
(編集委員 N・N)

宮前つばさ保育園は、反正（はんせい）天皇都跡である柴籬（しばがき）神社の真向かいに位置、幼稚園も併設する開園3年目の認定こども園です。

子ども、先生、地域の人々が、お宮の前にあるこの地から羽ばたいて欲しい。疲れたら、その羽を休めに来て欲しいー園名にはそんな思いが込められています。

「食育」では、駐車場裏の畑で旬の野菜や果実を育てて収穫。シースルー厨房があるランチルームで、調理される様子や包丁の音を聞きながら「食」の大切さを学びます。



保育園を
たずねて

430



姉妹園との交流



えんどうまめの収穫

発達にふさわしい生活の場
職員、保護者、行政が協力

運動あそびと食育に力注ぐ
子どもの育ちに良い経験を

高石市

高石保育園



真剣に討論する編集委員



男性保育士がいる 保育園

● 本誌編集委員座談会 ●

待遇、保護者との関わり、
仕事の質と量……とりまく課題多い

大切なのは性別ではなく「人」

「保育のまど」では、6
回にわたり「男性保育士」
をテーマに連載してきまし
た。その総括編として本紙
編集委員による座談会を開
催。男性保育士の現状や課
題、さらに男性保育士なら

ではのエピソードなどにつ
いて、活発な意見交換。要
旨を紹介します。(司会は齋
藤和正編集委員長)

「実態調査」を受けて

司会 全国保育協議会が
行った保育所実態調査(平
成19年5月～11月実施、全
国2万621施設対象、回
答率56・3%)の結果、正
規保育士に占める男性保育
士の割合は1・9%と非常
に低い値となっています。
本委員会で実施したアン



齋藤和正編集委員長

ケート調査(回答226園
/552園)でも、男性保
育士を雇用されている保育
園は、経験年数が低く、年
を重ねるにつれ、数は減っ
ています。私たちの世代で
は、やはり父親像と母親像
というものが明確にあり、
男性と保育士のイメージが
マッチしないという考えが
いまだ残っているのではし
ょうか? 皆さんの保育園で
はどうですか?

A 私の保育園では、現在
3年目の保育士がいます
が、イメージではなく、やは
り給与面での問題が大き
いと思います。今後、結婚
や子どもを養っていくう
えで、現実問題として、そ
れに見合った給与なのかど
うか、現実的に考えること
はごく自然なことでしょう。

B 私の保育園でも採用す
る際、事前に給与面のこと
は伝えることにしていま
す。続けて欲しいのは山々

なのですが、やはり続ける
にもそれなりの覚悟は必要
ですから。

C これは男性だからと
いった話ではないかもしれ
ませんが、保育士という職
業が自分の想像と違って
いて、辞められたという話を
聞いたことがあります。「子
どもが好きだから、子ども
と遊んでやるから」とい
う理由で保育園に入職した
ものの、その背景にある保
護者との関わりや、事務的
なことなど保育士の仕事は
実にさまざまで、現実との
ギャップを感じてしまうの
でしょう。

男性保育士がいたら

司会 以前に実施したアン
ケートでは「男性保育士が
いることで保護者との関わ
りが円滑になった」という
ご意見もたくさんありまし
た。皆さんはどう感じてお
られますか?

D やはり、家庭で両親と
子どもとの関わりは見えに
くいものがあります。特に、
父親には、女性保育士から
は聞けないこと、聞きにく
いことが多々あります。そ
ういった意味で、男性保育



活発な意見交換

士は父親との距離の取り
方、縮め方がスムーズです。
E 保育士が受ける保護者
からの相談に離婚問題が増
えています。私の保育園で
実際あった話で、父親が親
権を持ち、子どものことに
関していろいろと相談した
いが、女性にはやはり相談
しにくかったのでしょうか。

「〇〇先生はいますか?」と
父親からの指名で、男性保
育士が何度も相談を受けて
いました。1年が経過する
ころには問題も解決し、父
親から男性保育士に対して
改めて感謝の言葉がかけら
れたみたいです。女性では
気がつかないことや、気にし
て欲しいことも、男性同士
でなら、気がつく、気がま
わるなんてことも、もしか
したら多いのかもしれません。

F 保護者との関わり以外

にも、男性保育士に助けら
れたことは非常に多いで
す。女性が2人がかりで持
ち運びしなければならな
いような重い荷物も、男性
なら1人で運んでしまう。こ
れは大きなことです。後は、
不審者対策にも効果的だ
と思います。男性保育士個
人の力の有り無しではなく、
外から見た時に、男性がい
るといえないのでは雰囲気は
違ってくると思います。

G 今の保護者から、男性
保育士を担任にして欲しい
という要望もありました。
我々が想像している以上に
保護者の考え方は柔軟であ
るのかもしれない。

H 保護者からすれば、性
別でなく、子どもを安心し
て預けられるかどうか、な
のでしょうか。

司会 同意見です。子ども
と関わるうえで大切なもの
は決して性別で決められる
ものではないと思います。
結局のところ「人」なんだ
と思います。まだまだ、男
性保育士の割合は低いです
が、これから先、志の高い保
育士がどんどん誕生してい
くことに期待しています。

(事務局)

北大阪

役員改選

新会長に東口房正氏

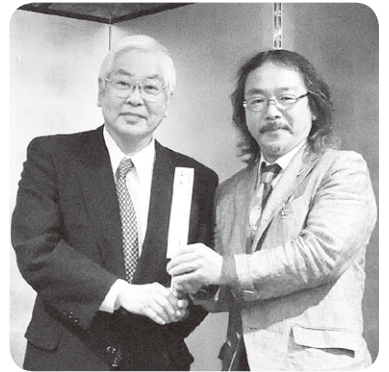
―北大阪ブロック総会

平成23年度北大阪ブロック総会が6月7日、ホテルモントレラ・スール大阪にて開催。119園から約80人が参加。議事に先立ち、東日本大震災で犠牲になら

れた方々に黙祷が捧げられました。

役員の改選では、永年私たちを導いていただいた亀井信昭会長が任期満了に伴い勇退され、新会長に、いずみっこ保育園（門真市）の東口房正氏が選出されました。

研修会では、坂崎隆浩氏（社会福祉法人清隆厚生会理事長）が「国の動向と子



左：前会長 亀井信昭氏
右：新会長 東口房正氏

育て新システム」のテーマで講演。震災や原発の問題で揺らぐ政局のもと「新システム」が、いどう変化するか判らないこと、来年

園構想」「指定制」「企業参入」など予断を許さない状況の中、乳幼児施設の存続と子どもの最善の利益のために、私たちの適切な対応

「保育指針」が「子ども指針」に再び変更されること、保育の質向上と量的拡大を含む大幅な財源確保の問題など、山積する課題に言及、「幼保一体化子ども

が問われる内容でした。懇親会で花束を贈呈された亀井前会長から「北大阪ブロック会は会員園の団結力が強い。今一度標を正し、より一層しっかりと運営していきましょう」と、東口新会長への励ましをいただきました。終始和やかな雰囲気の中、懇親を深めました。（江ノ口保育園K・Y）

南大阪

23年度は研修増やし

職員の資質向上めざす

―南大阪ブロック総会

5月6日、スイスホテル

南海大阪において南ブロックの総会を開催。役員改選で若干の変更はありましたが、中島一会長（天野山保育園）を中心とした体制を

継続。23年度は研修を増やし、職員の資質向上を目指す方向性が示されました。第2部では、熊井茂治氏（千里山やまて学園園長）

が、「地域貢献事業」について記念講演。「制度改革がなされる中で、多様な経営主体の保育園が参入する状況にあり、公益性の高い社会

（その一）

暑い夏。今年は電気の消費を如何に少なくするか―東京ではホテルも薄暗く、エスカレーターも止まっている。関西電力も原発11基中4基が定期検査中、国からは東京・中部電力へ融通を迫られ、この夏はヒヤヒヤもん。

エコブームである。敷地のコンクリート擁壁に30年前から、見た目と反射熱を防ぐために年中青い「いたび蔓」を這わしている。高さ2メートル、長さ40メートルに及び、エコ化の先取りをしてきた。

私は、何でも大きいものが好き。日除けと自然の爽りを狙って特大のモノを考えている。

旬

日除けと自然の爽り期待して…
ご飯のお供準備開始

ツに。ただキウイは徒長が激しく、剪定と摘果の作業が再々必要。安全ベルトを着けての作業になりそう。

さて、夏野菜がボチボチ出回る。泉南の水なすもそのうち届くやろ。糠床の準備もボチボチ

キウイだ！支柱に建築用の足場パイプを使い、2階の窓まで高さ5メートル、幅20メートルを超えて。数年掛かりになりそうだが、意欲満々。以前の園舎でも幅12メートル、高さ3メートルの棚にキウイを這わし、晩秋に収穫。昼食のフルー

始めな。食育を進める中で私は我が国の食料自給率一番の「米好き人間」の育成を目指し、昼食には漬物や佃煮を欠かさない。キャベツ・胡瓜・人参の刻み漬。人気は胡瓜の糠漬だが、パリパリ感のある漬物は温度と時間

の調整が大切。糠樽を冷蔵庫に出し入れするのは漬物係の職員と私の仕事。土用には梅干しの天日干し。誕生会定番のちらし寿司には欠かせない紅生姜も漬けて。この頃には鰻の脂がのって旬。梅

「橋下節」に同感！（H・N）

肉も旨いが、ワサビもよろしいな。スッポンも卵を持つ頃あ、よだれが出そう！

（その二）

国歌斉唱の際に、公立小中高教員に起立斉唱を義務づける条例が6月3日に可決。全国の都道府県で初めてらしい。

数年前、私も中学校の入学式で国歌斉唱の際に座っていた一年生の担任を見て、式後、当事者に面談を申し

入れ、「貴方は人を教える立場の人間です。個人的信条で起立が嫌なら、他の仕事に変わったら如何か！」。我々の園でも、園の方針に納得できないのなら、他の道を選択してもらい必要も

「橋下節」に同感！（H・N）

福祉法人の存在意義が問われ、地域ニーズを捉えた公益性が一層求められる」と熱く語られました。

また、吹田市における地域貢献事業を実践事例として紹介。吹田市では福祉施設連絡協議会を設立して合同研修会や交流会を開催し、施設間の情報の交換を密にすることで、ニーズに対し即座に必要な福祉サービスを提供できる体制を整えられたそうです。

熊井氏は最後に、「府内の保育園ではスマイルサポートを中心とした職員が地域福祉支援の窓口であり、今後の活躍が期待される。これからは施設の事業計画や事業報告に記載し、各市町村の地域福祉計画に明示するなど、地域貢献事業を実施していることの周知が必要である。相談や援助の内容は記録し、実績を目に見える形として残すことが重要である」と述べられました。

懇親会では、各市町村の状況や保育内容を話し合い、終始和やかに交流を深めました。

（編集委員H・M）